

《編集後記》

今冬は、ここ2～3年と違って非常に寒かつスキーヤーにはうれしい雪の多い冬になっています。体が慣れていないせいか体調を崩している人がいつもより多い気がします。

阪神大震災から一年以上過ぎ大きな災害もなく、今年はいいい年になります様にと元旦にお祈りしたのもつかの間、北海道で豊平トンネル岩盤崩落事故が起きてしまいました。地質調査業に携わる我々にとって毎日、テレビに釘づけではなかったでしょうか。これらの災害が起こらない様にと、研究・調査をしているのですが、自然はすごいもので、もっと努力しなければならぬものだと痛感しました。

東北地質調査業のメディアの一部である「大地」も今号で区切りとなる20号を発行することができました。災害つづきで我々の役割も更に大きくなってくると共に、21号以降の「大地」も会員間の情報伝達手段としての役割がさらに大きくなってきました。今後とも皆様の御協力をお願いします。

最後に、年度末の御忙しい中原稿を御寄せ下さいました皆様にお礼を申し上げたいと思います。

(長谷 裕)

協会誌『大地』発行・編集

『大地』第20号

平成8年3月15日発行

社団法人 全国地質調査業協会連合会

東北地質調査業協会

広報委員会

編集責任者 鈴木 楯 夫

仙台市青葉区本町3-1-17 (やまふくビル)

電話 022-268-1033

FAX 022-221-6803

表表紙 岩手山全景
裏表紙 岩手山全景
題 字 長谷前理事長揮毫

